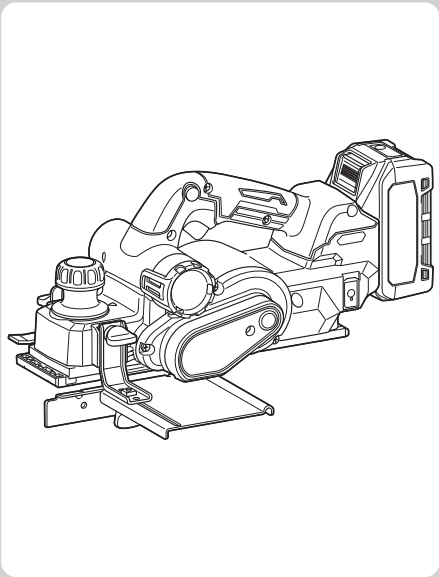
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

取扱説明書

82 mm 充電式カンナ

モデル KP001G



このたびは82 mm充電式カンナをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

もくじ

主要機能 …… 2
安全上のご注意 …… 3
充電式カンナ安全上のご注意 …… 11
ワイヤレスユニットの使用上のご注意 …… 13
IP 表示について（防じん・防水性能） …… 15
各部の名称および標準付属品 …… 16
別販売品のご紹介 …… 17
バッテリについて …… 18
充電器について …… 21
使用前準備 …… 30
・ボックスレンチ収納場所
・デプスガイドの取り付け・取りはずし方
・切削深さの調節
・ガイドルールの取り付け・取りはずし方
・カンナ刃の交換（取り付け・取りはずし方）
使い方 …… 35
・スイッチの操作
・フット
・ダクトの取りはずし・取り付け方
・各種機能
作業方法 …… 38
・削り方
・相じゃくり切削（段差をつける削り方）
・面取り作業
別販売品の使い方 …… 41
・ミニ超硬カンナ刃の取り付け方
・集じん機との接続
・エルボの使用
・ダストバッグの使い方
無線連動機能（AWS） …… 45
・ワイヤレスユニット（A-66151）の取り付け・取りはずし方
・無線連動の準備
・無線連動
・機器登録
・登録解除
・登録全消去
・無線ランプについて
・トラブルシューティング
保護機能 …… 56
・本製品およびバッテリの保護機能
故障かな？と思ったら …… 57
保守・点検について …… 58
・切削くずの出口の清掃
・本製品のお手入れ
・ご修理の際は

主要機能

主要機能 ＼ モデル	KP001G
電動機	DC ブラシレスモータ
バッテリ（容量 / セル数）	リチウムイオンバッテリ
	BL4025（2.5 Ah/10 本）
電圧	直流 36 V（40 V max）※ 1
回転数	15,000 min^{-1}（回転 / 分）
最大切削幅	82 mm
最大切削深さ	4 mm
相じゃくり深さ	25 mm
本製品寸法※ 2	長さ 379 mm ×幅 156 mm ×高さ 166 mm
質量※ 2	3.5 kg
防じん・防水保護等級	IP56

充電器		DC40RA
入力電圧		単相交流 100 V
入力周波数		50 - 60 Hz
入力容量		310 W
バッテリ充電端子	出力電圧	直流 40 V max
	出力電流	直流 6 A
USB 電源端子	出力電圧	直流 5.0 V
	出力電流	直流 2.4 A
	端子形状	USB A 型

• 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。
※ 1：40 V max は満充電時のバッテリ電圧を表しています。
※ 2：BL4025 装着時、デプスガイド、ガイドルール非装着時

1 回の充電での作業量

・ 数値は参考値です。
・ 数値は木材の状態およびカンナ刃の切れ味により異なります。

使用バッテリ	材料（寸法 (mm)）	切削深さ (mm)	切削量 (m)
BL4025	米松 長さ 1,000 × 幅 50	1.0	95
BL4040	米松 長さ 1,000 × 幅 50	1.0	170

安全上のご注意

JPA002-65

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「充電工具」は、充電式（バッテリパック式）の電動工具を示します。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
・ 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリが短絡（ショート）する恐れがあります。
・ バッテリ内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
- 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
- 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

2. 安全保護具を使用してください。
- 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴･ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。

3. 不意な始動は避けてください。
- バッテリを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- スイッチに指をかけて運ばないでください。

4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
- 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。

5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 本製品を無理に押しつけず、常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

6. きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
- 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

8. 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。

充電工具の使用および手入れ

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
- 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠警告

3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリを本製品から抜いてください。
- 本製品の調整
- 刃物、砥石、ビットなどの先端工具や付属品の交換
- 保管、または修理
- 充電工具から離れるとき
- 本製品の受け渡し
- その他危険が予想される作業

4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
- 充電工具や充電器からバッテリを抜いて保管してください。
- 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
- バッテリはバッテリカバーをつけて保管してください（バッテリカバー付きの場合）。

5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
- 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
- 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
- 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。

8. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
- 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

バッテリに関する安全事項

1. バッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
- スイッチがオンの位置にあるときにバッテリを差し込むと事故につながります。

⚠警告

2. バッテリは専用充電器以外では充電しないでください。
・ ほかのバッテリ用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリ以外使わないでください。また、改造したバッテリ（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリを含む）を使用しないでください。
・ 工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリの端子部を金属などで接触させないでください。
・ バッテリを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
・ 本製品または充電器からはずした後は、バッテリにバッテリカバーを必ず取り付けてください（バッテリカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
・ 万が一、バッテリの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
・ バッテリの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリは、火への投入、加熱をしないでください。
・ 発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
・ バッテリを周囲温度が 50 ℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリ劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
11. バッテリを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
・ バッテリ内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリは使用しないでください。
・ 損傷、または使用できなくなったバッテリは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
14. 使用済みのバッテリは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
・ 棄てられたバッテリがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

⚠ 警告

15.バッテリは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
- 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
- 電力量は、バッテリ裏側の注意ラベルに記載されています。

16.使用中、使用後にバッテリが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。

17.バッテリに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。
- 異常発熱によりやけどをしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
- 本製品、充電器、バッテリを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
- アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
  ＜異常・故障例＞
  - 本製品やバッテリが異常に熱い。
  - 本製品やバッテリに深いキズや変形がある。
  - 焦げくさい臭いがする。
  - ビリビリと電気を感じる。
- スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

⚠警告

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
- 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。

4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
- 爆発や火災の恐れがあります。

5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
- ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
- 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

6. 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
- そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

9. 正しく充電してください。
- 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
- 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ラベルに 発電機 の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 周囲温度が 10 ℃未満、または周囲温度が 40 ℃以上ではバッテリを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- バッテリは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
- 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

⚠警告

10.充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
- 感電の恐れがあります。

11.充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。
- 誤動作や故障する恐れがあります。

12.充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安
- 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm^2	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式カンナ安全上のご注意

JPB200-4

先に充電工具としての共通の注意事項を述べましたが、充電式カンナとして、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用前に、カンナ刃取り付けボルトが十分に締まっているか常に確認してください。
・ 締め付けが不十分な場合、けがの原因になります。
2. 使用中は、両手で本製品を確実に保持してください。
・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
3. 使用中は、切粉排出口に指などを入れないでください。
・ 回転しているカンナ刃に触れ、けがの原因になります。
4. 材料を手に持っての切削はしないでください。
・ カンナ刃に触れ、けがの原因になります。
5. 本製品を万力などで保持して、カンナ刃を上向き（定置形）にした使い方はしないでください。
・ カンナ刃に手や身体が触れ、思わぬけがの原因になります。
6. 切削する材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。
・ 不安定な状態での作業は、けがの原因になります。
7. 木材に、釘や砂などの異物がないことを作業前に十分確かめてください。
・ 刃物を破損させ、事故の原因になります。
8. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
・ そのまま使用していると、事故やけがの原因になります。
9. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. カンナ刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
・ 確実に取り付けないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
・ けがの原因になります。
3. カンナ刃の取り扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
・ 不用意に扱うと、切り傷の原因になります。
4. 使用中は、本製品の底面に手など身体を近づけないでください。
・ カンナ刃に触れ、けがの原因になります。
5. ベルトカバーの底面は、ベルトが覆われていないので、使用中、手などを近づけないでください。
・ ベルトに触れ、けがの原因になります。
6. カンナ刃の交換や刃高調整後は、カンナ刃取り付けボルトを十分に締め付けてください。
・ ボルトがゆるむと、思わぬけがの原因になります。
7. スイッチを切った後も、惰性で回転しているカンナ刃に注意してください。
・ 手などが触れると、けがの原因になります。
8. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
・ 材料や本製品などを落としたときなど、事故の原因になります。
9. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。
・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
10. 被削材は動かないようにクランプなどで固定してください。

ワイヤレスユニットの使用上のご注意

JPC001-2

・ ワイヤレスユニットが集じん機に内蔵されている場合、ワイヤレスユニットは取りはずすことができません。無理に分解などして取り出さないでください。

⚠ 警告

1. バッテリが挿入されている状態で、工具からワイヤレスユニットを取りはずさないでください。故障の原因となります。
2. ワイヤレスユニットは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、ワイヤレスユニットを使用するときに無線局の免許は必要ありません。
3. ワイヤレスユニットを分解、改造しないでください。
4. ワイヤレスユニットを水にぬらさないでください。
5. ワイヤレスユニットは 50℃を超える環境下で使用しないでください。
6. ワイヤレスユニットは精密機械です。強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
7. ワイヤレスユニットの金属端子を手や金属で触れないでください。
8. ワイヤレスユニットはマキタ製の無線連動対応した工具以外で使用しないでください。
9. 乳幼児の手の届く場所に置かないでください。誤って飲み込んだ際は、直ちに医師の診断を受けてください。
10. 静電気や電気ノイズが発生する場所で使用や保管をしないでください。
11. 車内など、高温になる場所や直射日光が当たる場所に置かないでください。
    - 急激な温度変化は結露の原因になります。結露した場合は乾くまで使用しないでください。
12. 湿度の高い場所、ほこりや粉じんが多い場所、腐食性のガスが発生する所で使用や保管をしないでください。
13. ワイヤレスユニットを取りはずして保管する際は付属のケースまたは静電気対策された袋などに入れて保管してください。
14. 無線連動ボタンを必要以上に強く押したり、先端の尖ったもので押したりしないでください。
15. ワイヤレスユニットが汚れた際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品、接点グリスなどは使用しないでください。
16. 心臓ペースメーカーなどの医療機器の近くで無線連動機能を使用しないでください。
17. 自動制御機器などの近くで使用すると誤作動の恐れがあります。
18. 複数のワイヤレスユニットの機器登録は 1 台ずつ行ってください。
19. 機器登録済みのワイヤレスユニットを工具に取り付ければ、使用するたびに機器登録をする必要はありません。

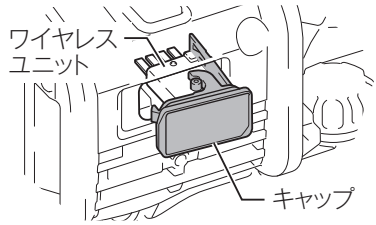
⚠警告

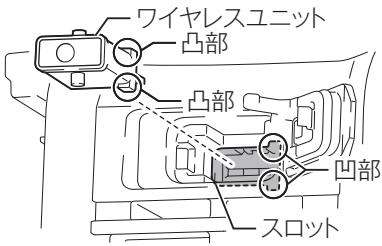
20. 機器登録済みのワイヤレスユニットを取り付けた複数の工具をお使いの際は、無線連動機能を使用する工具以外は無線連動を OFF にしてください。
- 工具のスイッチを切っても集じん機が動き続けたり、不意に集じん機が動き出す原因になります。

21. 無線連動の有効距離は約 10 mです。ただし、工具と集じん機の間に障害物などがあると有効距離が短くなる場合があります。
22. 無線連動機能を使用する場合は、ご使用前に集じん機と工具が連動することを確認してください。
- 連動できない状態で使用すると、工具から漏れ出した粉じんを作業者が吸い込む恐れがあります。

⚠注意

- ワイヤレスユニットの取り付け、取りはずしの際は必ずバッテリを抜いてから行ってください。
- ワイヤレスユニットの取り付け、取りはずしの方法については使用する工具の取扱説明書を併せて参照してください。
- 工具側のキャップをあける際、キャップ周辺に粉じんや水が付着していたときはきれいに取り除いてから、あけてください。
- スロットに粉じんや水が入らない環境で行ってください。もしスロットに粉じんや水が付着しているときは、きれいに取り除いてください。
- ワイヤレスユニットの凸部とスロットの凹部を合わせて取り付けてください。
- ワイヤレスユニットとスロットの形状が合わない向きで無理に挿し込まないでください。
- キャップが開いた状態で使用しないでください。





※イラストは参考例です。製品によりスロットの位置、その他デザインが異なりますのでご了承ください。

IP 表示について（防じん・防水性能）

IP 表示は IEC 国際規格により規定される電気機器への粉じんや水の侵入に対する保護等級を表します。
保護等級の分類と内容はつぎの通りです。

IP 5 6

有害な影響を伴う水の侵入に対する保護等級（防水）

保護等級	内容
0 ～ 3	省略
4	あらゆる方向からの水の飛沫に対して保護されている。
5	あらゆる方向からの噴流水（12.5 ℓ /min）に対して保護されている。
6	あらゆる方向からの暴噴水（100 ℓ /min）に対して保護されている。
7	水に浸しても影響がないように保護されている。
8	潜水状態での使用に対して保護されている。

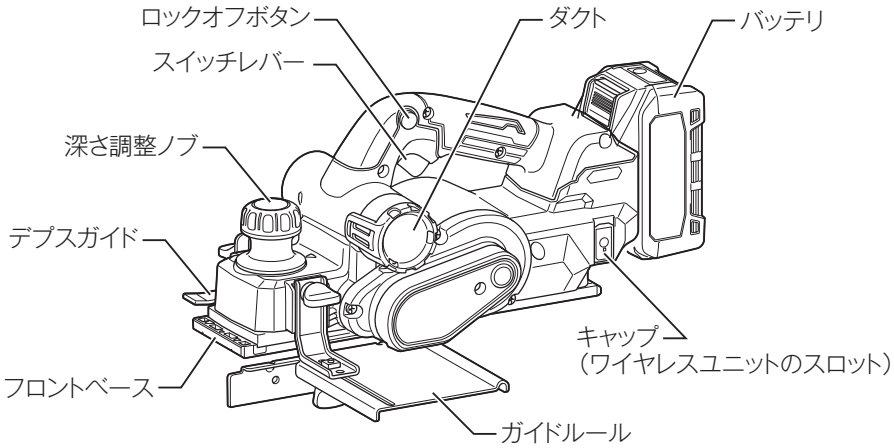
外来固形物の侵入に対する保護等級（防じん）

保護等級	内容
0 ～ 3	省略
4	直径 1 mm 以上の大きさの外来固形物に対して保護されている。 針金での危険箇所への接近に保護されている。
5	防じん試験用粉じん（直径 75 μ m）が侵入しても、動作および安全性を損なわないように保護されている（防じん形）。
6	耐じん試験用粉じん（直径 75 μ m）が侵入しないように保護されている（耐じん形）。

注

- IP 表示をしている製品は粉じんや水による影響を受けにくいように設計されていますが、故障しないことを保証するものではありません。
  過度な粉じんのあるところ、水中や雨の中での使用、放置はしないでください。
- 工具本体にバッテリを装着した状態で、IEC 国際規格に規定された保護等級に適合しております。

各部の名称および標準付属品



製品の組み合わせおよび標準付属品

モデル / 標準付属品	KP001GZ	KP001GRDX
バッテリ （容量 / セル数）	×	BL4025 （2.5 Ah/10 本） 2 個
充電器 （充電時間）	×	DC40RA （実用充電完了 *1: 約 19 分） （フル充電完了 *2: 約 28 分）
ボックスレンチ９	○	○
カンナ刃１組 （本製品取り付け）	○	○
予備カンナ刃１組	○	○
バッテリカバー	×	○（2 個）
ガイドルール	○	○
デプスガイド	○	○

*1 実用充電完了：フル充電完了の約 80% の充電が完了した状態。
*2 フル充電完了：バッテリの容量いっぱいまで充電された状態。

別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

・ バッテリおよび充電器

品目	品名	部品番号
使用可能バッテリ（容量 / セル数）	◎ BL4020（2.0 Ah/10 本）	A-75823
	◎ BL4025（2.5 Ah/10 本）	A-69923
	◎ BL4040（4.0 Ah/10 本）	A-69939
	◎ BL4040F（4.0 Ah/10 本）	A-73841
	BL4050F（5.0 Ah/20 本）	A-72372
	BL4080F（8.0 Ah/20 本）	A-73368
	BL4080H（8.0 Ah/20 本）	A-77263
対応充電器	DC40RA（急速充電器）	JPADC40RA
	DC40RB（2 口急速充電器）	JPADC40RB
	DC40WA（2 口充電器）	JPADC40WA
	DC40WB（充電器）	JPADC40WB

◎：使用推奨バッテリ

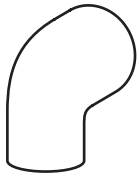
・ 替刃式カンナ刃（2 枚 1 組）
部品番号：A-17033

・ 替刃式ミニ超硬カンナ刃セット品
部品番号：A-01775
（カンナ刃 2 個
セットプレート 2 個）
カンナ刃のみ
部品番号：A-01747

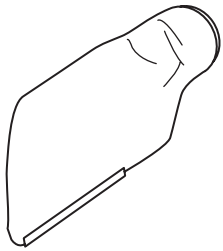
・ ワイヤレスユニット（WUT01）
部品番号：A-66151
※無線連動機能を使うためには、工具にワイヤレスユニットを取り付ける必要があります。

・ ADP10 充電器用互換アダプタ
部品番号：A-69967
※充電器 DC40RA または DC40RB に取り付けることでマキタ 14.4 V/18 V バッテリの充電が可能になるアダプタです。

・ エルボ
部品番号：416368-8



・ ダストバッグ
部品番号：122793-0



バッテリについて

バッテリについて

・ お買い上げ時は、バッテリは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
・ 使用しないときはバッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。
・ 使用しないときは本製品または充電器からバッテリを抜いて保管してください。

バッテリを長持ちさせるには

・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
・ 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
・ 充電は周囲温度 10 ℃～ 40 ℃の範囲で行ってください。
・ 長期間（6 ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリの回収について

・ 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

リチウムイオンバッテリは
リサイクルへ

バッテリについて

バッテリの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

本製品にバッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

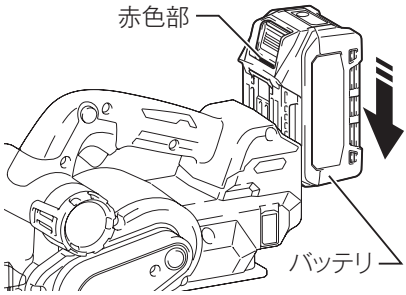
・ スイッチを入れたままバッテリを差し込むと、事故の原因になります。

バッテリは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

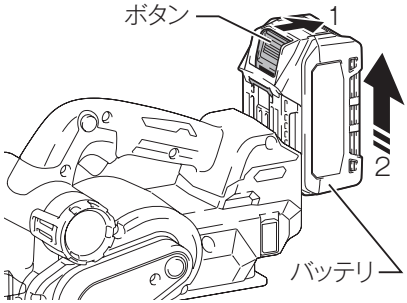
取り付け方

・ バッテリを本製品の溝に合わせ、赤色部が見えなくなるまで差し込みます。



取りはずし方

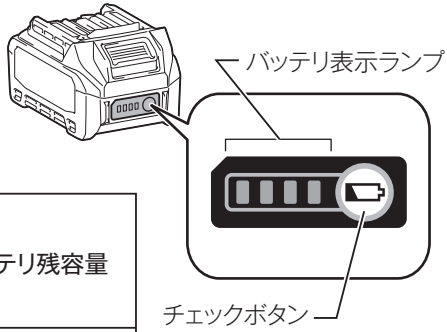
・ バッテリのボタンを
1. 矢印方向に押しながら
2. 引き出します。



バッテリについて

バッテリ残容量表示機能

・ チェックボタンを押すとバッテリ表示ランプが残容量を数秒間表示します。



バッテリ表示ランプ :点灯　:点滅　:消灯	バッテリ残容量
■ ■ ■ ■	75 % - 100 %
■ ■ ■ □	50 % - 75 %
■ ■ □ □	25 % - 50 %
■ □ □ □	0 % - 25 %
◪ □ □ □	充電してください。
■ ■ □ □ ↓ ↑ □ □ ■ ■	バッテリの異常です。

注

・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
・ バッテリ保護機能が働いた際は、左端の表示灯が点滅します。

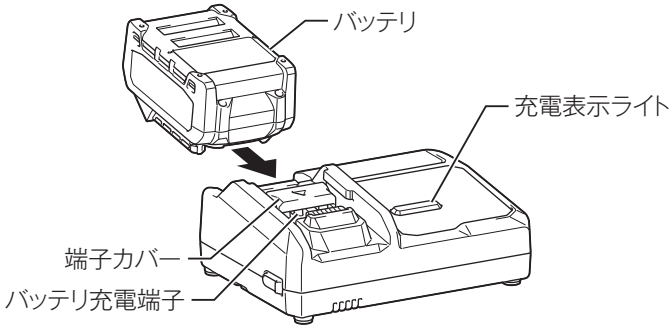
充電器について

シンボルマークについて

・ 充電器および取扱説明書にシンボルマークを表記しております。このシンボルマークの意味をご理解の上ご使用ください。

充電器は屋内で使用してください。

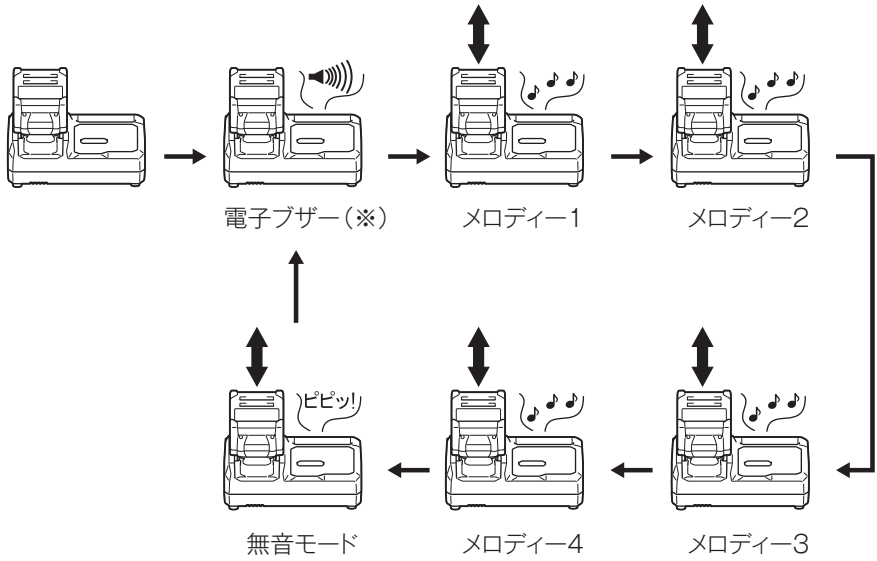
バッテリの充電方法



1. 充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに挿し込みます。
・ 充電表示ライトは [緑点滅] を繰り返します。
2. バッテリを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れます。
・ 充電器の端子カバーはバッテリ挿入に伴い開閉します。
3. バッテリを挿入しますと充電表示ライトが [青点滅（短）] に変わり、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴り、充電を開始します。
4. 実用充電完了状態（約 80 % ～ 100 %）になると [青点灯] に変わり、電子ブザーが約 1 秒鳴ります。
5. フル充電完了状態になると [緑点灯] に変わり、充電完了メロディーまたは電子ブザー音が鳴ります。
・ 充電時間は周囲温度（10 ℃～ 40 ℃）やバッテリの状態（新品・長期保存バッテリや寿命に近いバッテリなど）により変動します。
・ 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約 30 分です。
6. 充電完了後はバッテリを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜きます。

充電完了メロディーの切り替え方法

1. バッテリを充電器に差し込むと、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴ります。
2. このとき、素早くバッテリを差し直すと充電完了メロディーの確認音が変わります。
3. 続けて素早くバッテリを差し直すたびに充電完了メロディーの確認音が順に変わります。
4. 設定したい充電完了メロディーの確認音が鳴りましたら、バッテリを挿入したままにすることで充電を開始します。
   「ピピッ！」と鳴るモードを選んだときは充電完了時に音が鳴りません（無音モード）。
5. 充電が完了すると充電表示ライトが [緑点灯] に変わり、バッテリ挿入時に設定した充電完了メロディーや電子ブザー音が鳴ります。無音モードを選択した場合には完了時に音はしません。
6. 設定した充電完了メロディーは充電器の電源プラグを抜いても記憶されています。

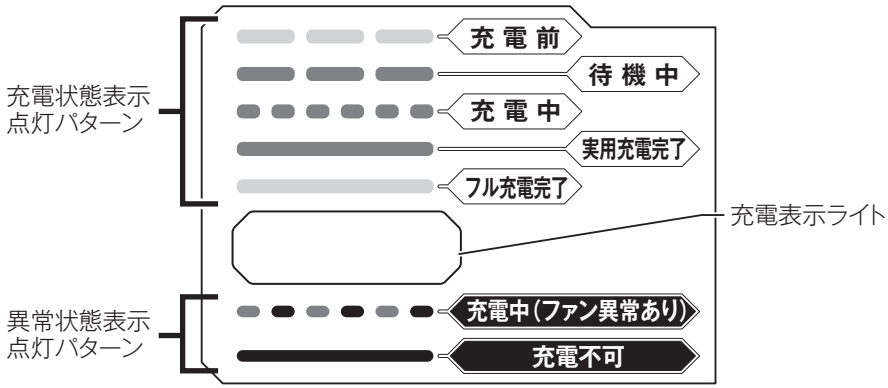


（※）出荷時は電子ブザーに設定されています。

充電器について

充電表示ライトについて

充電表示ライトの内容は以下のようになっています。



ライト表示	状態	詳細
緑点滅	**充 電 前**	電源に挿し込んだ状態
青点滅(長)	**待 機 中**	バッテリが充電可能な温度状態になった後、自動的に充電開始
青点滅(短)	**充 電 中**	バッテリ容量約0 %~80 %
青点灯	**実用充電完了**	バッテリ容量約80 %~100 % (80 %で電子ブザーが鳴ってお知らせ)
緑点灯	**フル充電完了**	バッテリ容量100 % (電子ブザーまたはメロディーでお知らせ)
青･赤交互点滅	**充電中(ファン異常あり)**	冷却ファンの故障または冷却不足の状態
赤点灯	**充電不可**	バッテリ寿命またはゴミづまりで充電不可の状態 (電子ブザーが約20秒間鳴ってお知らせ)

充電器について

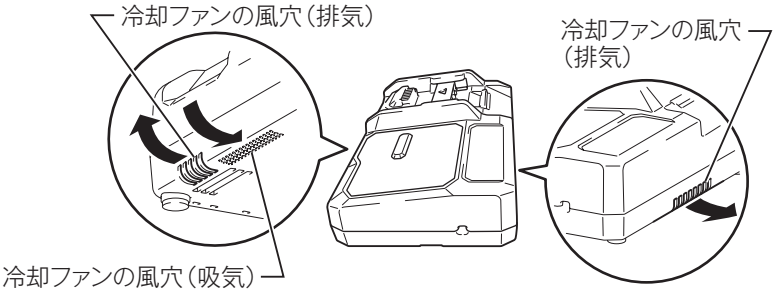
注

- DC40RA はマキタバッテリ専用の急速充電器です。他の目的に使用しないでください。
- 使用直後のバッテリや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリを充電されますと充電表示ライトが [青点滅（長）] を繰り返す場合があります。
  - このようなときは、自動的に充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを冷却してから充電を開始します。
- 充電開始後、充電表示ライトが [赤点灯] し、電子ブザーが [ピッピッピッ] と約 20 秒間鳴った場合は、バッテリの寿命またはゴミづまりで充電できないか、充電器とバッテリ間の通信が異常です。
  - このようなときは、バッテリ充電端子を掃除したり、新しいバッテリに交換してください。
- 次のような状態のときは、充電器またはバッテリに故障があると考えられますので、充電器とバッテリの両方を、お買い上げの販売店、または当社営業所へお持ちください。
  - × 充電器のプラグを 100 V の電源に挿し込んでも、充電表示ライトが [緑点滅] しない。
  - × バッテリを挿入しても、充電表示ライトが [青点滅] しない。
- バッテリを使用しないときは、バッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。

充電器について

冷却システムについて

- バッテリの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
- 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリのゴミづまりによって冷却不足となった場合、充電表示ライトが [赤・青交互点滅] し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行いますが、充電時間が長くなることがあります（その場合、実用充電完了表示はありません）。
  - このようなときは、充電器、バッテリの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- 充電器の前面と背面にある「冷却ファンの風穴」がゴミやほこりでふさがれていないか定期的に確認、清掃をしてください。



- 充電中、送風の音がしない場合がありますが、充電表示ライトが [赤・青交互点滅] していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
- 充電器、バッテリの風穴をふさがないでください。
- 頻繁に充電表示ライトが [赤・青交互点滅] するようなときは、点検・修理をお申し付けください。

充電器について

USB 電源端子への接続

⚠ 警告

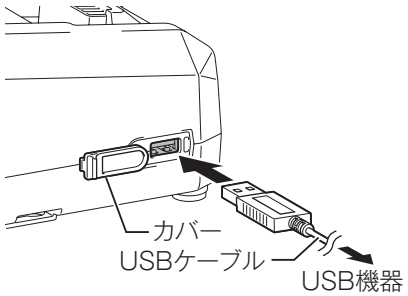
USB 電源部の端子間を短絡（ショート）させないでください。
- 釘、針金が USB 電源端子部に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

DC40RA は、様々な USB 機器の外部電源としても使用することができます。次の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注

- **万一の場合に備えて、ご使用になる USB 機器の内部データを必ず事前にバックアップしてください。**
  - 接続した USB 機器の内部データが（予測できない問題により）破損・消失する可能性があります。
- **USB 機器の種類によっては、動作しない、または充電できない機種があります。**
- **2.4 A を超える出力電流を必要とする USB 機器は、充電器に接続しないでください。**
  - USB 電源端子の最大出力電流は、2.4 A です。
- **充電器と USB 機器の接続には、USB 機器に付属の USB ケーブルをご使用ください。**
- **使用後は USB 端子カバーを閉じてください。USB 端子カバーが開いていると USB 端子内部に水滴やほこりが侵入し故障につながります。**

1. DC40RA 側面の USB 端子カバーを開いて、USB ケーブルで USB 機器と接続します。
2. DC40RA の電源プラグを電源コンセントに挿し込んで USB 機器に給電します。
3. 使用後は、USB 機器、USB ケーブルを取りはずし、カバーを戻してください。
4. 電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



充電器について

壁に取り付けて使用する場合

⚠ 注意

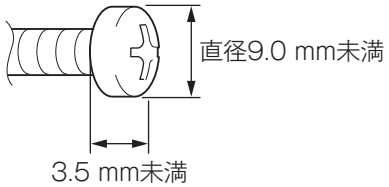
- 壁に取り付けて使用する場合は、必ず吊下げ用ネジ２本で確実に吊下げてください。
- 充電器を吊下げた後は、固定用ネジなどにより充電器を固定してください。固定が不十分な場合、充電器からバッテリを抜き取る際に充電器が落下する恐れがあります。
- 取り付け作業を行うときは、バッテリを抜き取り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 取り付け作業を途中で中断すると落下などの恐れがあります。取り付け手順を守り、最後まで確実に取り付け作業を行ってください。
- 定期的にネジのゆるみがないか確認してください。
- ネジのゆるみがあると充電器が落下する恐れがあります。
- 定期的に充電器の端子部を掃除してください。
- 端子部の掃除を行うときは、エアダスターなどでていねいに行ってください。
- 充電器本体、バッテリ（BL4040）の総重量は、約 2.1 kg になります。取り付け場所の耐荷重が不足する場合は、十分な補強を行ってください。

壁面への充電器の取り付けは、次の手順で行ってください。

1. 事前準備

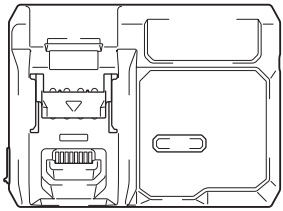
用意するもの（別途準備してください）

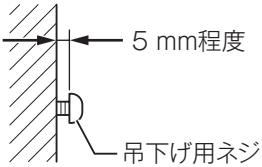
- 木ネジ（吊下げ用）4 mm × 20 mm 以上：２本
  ※ネジ頭は下図の寸法としてください。

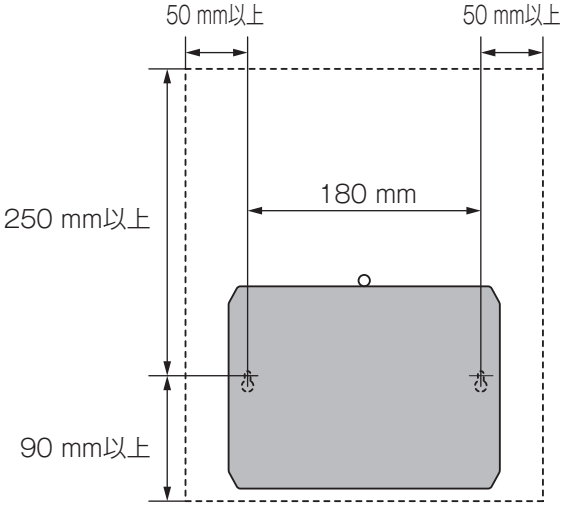


- 木ネジ（固定用ネジ 1）4 mm × 25 mm 以上：1 本
- 工具（ネジ締め用）

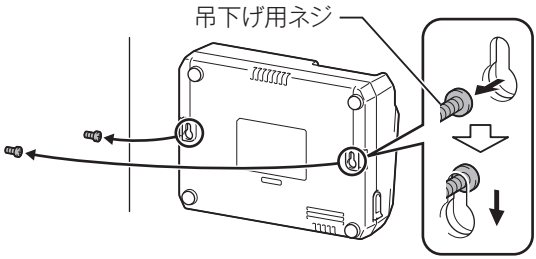
2. 吊下げ用ネジの取り付け
周りに充電器の取り付け作業や、バッテリの充電作業の障害になる出っ張りなどがない、強度のある壁面に取り付けてください。



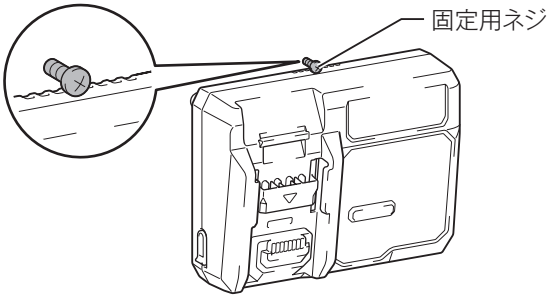




3. 充電器の取り付け
手順 2 で取り付けた吊下げ用ネジに充電器を引っかけてください。



4. 充電器の固定
固定用ネジを図のように締め込んでください。

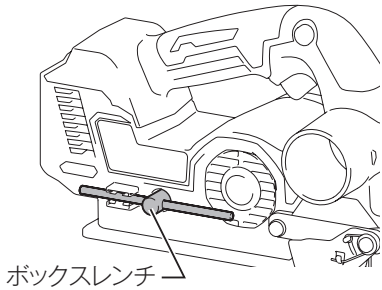


充電器の点検・修理・保管について

・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。修理・点検はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
×お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
×温度や湿度の急変する所
×湿気の多い所
×直射日光の当たる所
×揮発性物質の置いてある所

ボックスレンチ収納場所

・ ボックスレンチを紛失しないように、使用しないときは本製品に取り付けてください。



デプスガイドの取り付け・取りはずし方

デプスガイドは、作業に応じて取り付けてください。

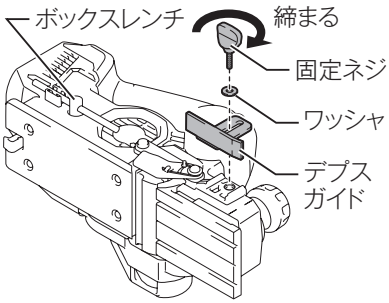
⚠ 警告

デプスガイドの取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリを抜いてください。

・ バッテリを取り付けたまま行うと、事故の原因になります。

デプスガイドの取り付け方

1. ボックスレンチが上になるように、本製品を置きます。
2. デプスガイドの固定ネジをワッシャとともに本製品の取り付け穴に合わせ、しっかり締め付けて固定します。



デプスガイドの取りはずし方

・ デプスガイドの取りはずし方は、取り付け方と逆の要領で行います。

デプスガイドの調整

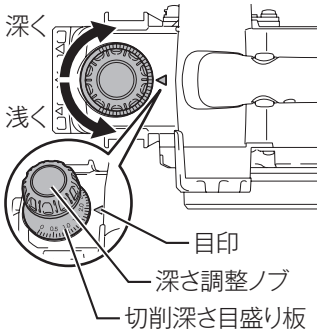
デプスガイドを上下させて、最大切削位置を調整します。

・ 相じゃくり深さは最大 25 mm までです。

切削深さの調節

ノブ（前部の握り）を回して切削深さ目盛り板の数値を目印に合わせます。

・ 一度で削れる深さは 0 ～ 4.0 mm までです。お使いになる前に削りたい切削深さにセットしてください。



ガイドルールの取り付け・取りはずし方

ガイドルールは、作業に応じて取り付けてください。

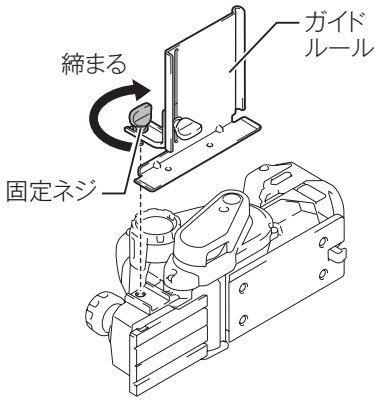
⚠ 警告

ガイドルールの取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリを抜いてください。

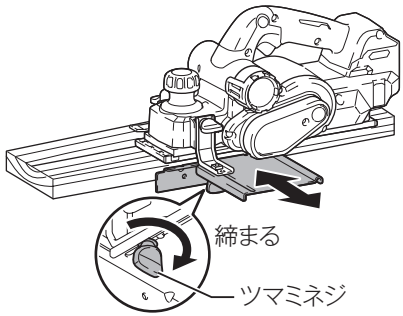
・ バッテリを取り付けたまま行うと、事故の原因になります。

ガイドルールの取り付け方

1. ボックスレンチが下になるように、本製品を置きます。
2. ガイドルールを本製品の取り付け穴に合わせ、固定ネジを回し、しっかり締め付けて固定します。



3. ガイドルールを削りたい幅に合わせて、ツマミネジをしっかり締め付けて固定します。



ガイドルールの取りはずし方

・ ガイドルールの取りはずし方は、取り付け方と逆の要領で行います。

カンナ刃の交換（取り付け・取りはずし方）

⚠ 警告

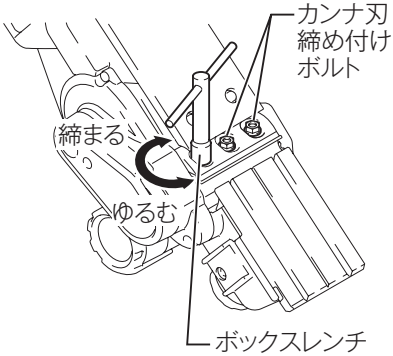
カンナ刃の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリを抜いてください。
・ バッテリを取り付けたまま行うと、事故の原因になります。

⚠ 注意

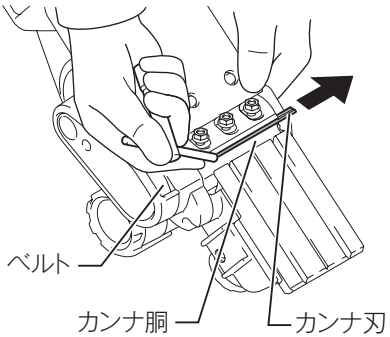
カンナ刃締め付けボルトは付属のボックスレンチで十分締め付けてください。
・ ボルトがゆるむと、思わぬけがの原因になります。
カンナ刃を取り出す際には、カンナ刃の両端をつかむように取り出してください。
・ 直接刃先に触れますと、切り傷の原因となります。
カンナ刃の取り扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
・ 不用意に扱うと、切り傷の原因になります。

カンナ刃の取りはずし方

1. カンナ胴の３本のカンナ刃締め付けボルトを付属のボックスレンチで１回転ゆるめます。

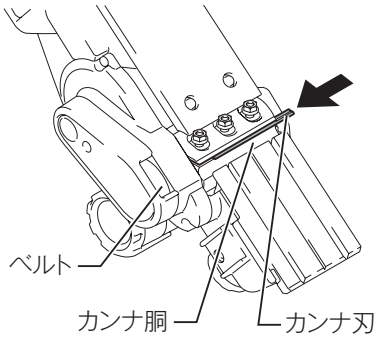


2. カンナ刃をベルト側よりボックスレンチの柄で押して取りはずします。
3. カンナ胴の 180° 反対側に付いているカンナ刃も同様に取りはずします。

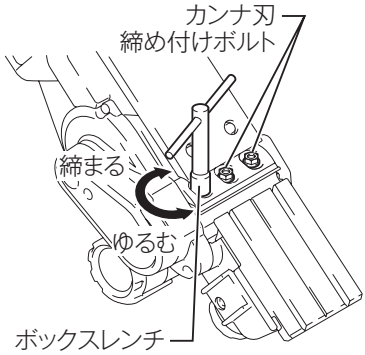


カンナ刃の取り付け方

1. ベルトと反対側よりカンナ胴とセットプレートの間にカンナ刃を挿入します。



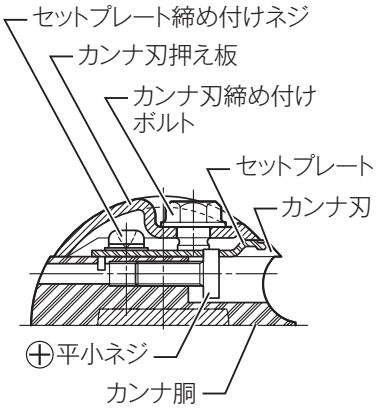
2. 3本のカンナ刃締め付けボルトをボックスレンチでしっかり締め付けます。



注

- **カンナ刃の反対側を使用されるときは、刃に付着したヤニや汚れをきれいに取り除いてから取り付けてください。**

- カンナ刃は適切な位置で固定されています。もし、刃先が本製品のベース面に対して、内に入り過ぎたり、外に出過ぎたりしているときは、カンナ刃の調整が必要です。
  カンナ刃締め付けボルトとセットプレート締め付けネジをゆるめてから、⊕平小ネジをゆるめ、カンナ刃の位置を調整してください。
- 調整後は、セットプレート締め付けネジ、カンナ刃締め付けボルトを締め付けてください。



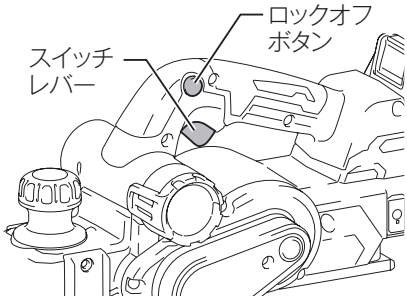
スイッチの操作

⚠注意

本製品はスイッチを切ると同時にブレーキがかかります。ブレーキがかかると反発力が発生しますので、本製品をしっかりと保持してください。

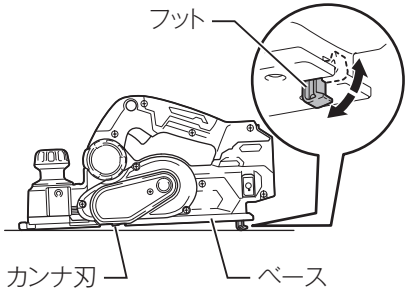
・ 本製品を落としたりして、けがの原因になります。

・ スイッチはロックオフボタンを押し込んだ状態でスイッチレバーを引くと入り、放すと切れます。
・ スイッチレバーを放すと自動的にロックオフボタンが戻り、スイッチが入らない状態になります。



フット

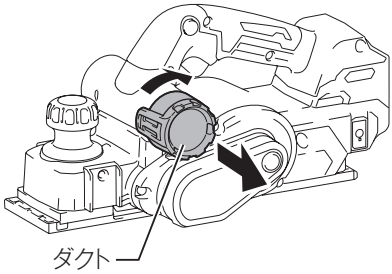
・ 本製品の後側を上げると図のようにフットがベース下に出てきます。フットを出した状態で置いておけば、カンナ刃と材料の接触を防ぐことができます。



ダクトの取りはずし・取り付け方

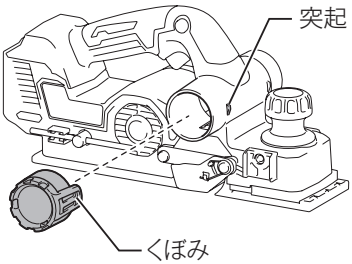
ダクトの取りはずし方

・ ダクトを少し後ろに回すように、抜き取ります。



ダクトの取り付け方

・ 本製品の突起とダクトのくぼみが合うように、ダクトを回し入れます。
・ ダクトは本製品左右のどちらでも取り付けることができ、切削くずの出る方向を切り替えできます。



各種機能

ソフトスタート機能

・ スイッチレバーを引いたとき、反動を抑えスムーズに回転し始めます。

ブレーキ機能

・ スイッチを切ると、電気的に回転を止めます。ただし、保護機能が働いたり、スイッチを入れたままバッテリを抜いたりした場合は機能しません。

再起動防止機能

・ スイッチレバーを引いた状態でバッテリを差し込んでも起動しません。いったんスイッチレバーを放し、再度スイッチレバーを引くと起動します。

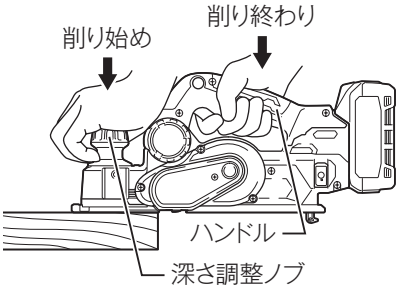
削り方

⚠ 注意

作業台や板の上に置いた状態でスイッチを入れないでください。
・ カンナ刃が回転し、けがの原因になります。
作業するときには必ず深さ調整ノブを使用し、深さ調整ノブとハンドルをしっかり持って作業してください。

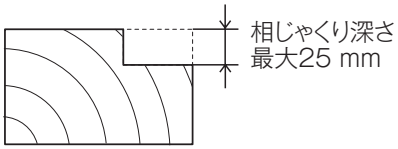
1. カンナ刃が木材に当たらない位置でスイッチを入れます。
2. カンナ刃の回転が一定になってから、木材の上を滑らせるように、本製品を静かに前へ進めます。
3. 削り始めや削り終わりは、右図のように矢印方向に力を入れて削ります。

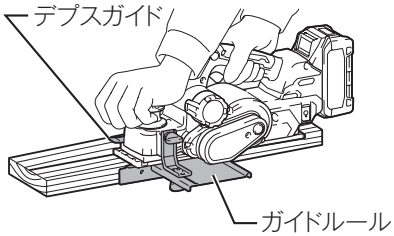
・ 美しい仕上面を得るには、始めのうちは切削量を深くして荒削りをし、仕上げるときは浅めにして使用するのが理想的です。



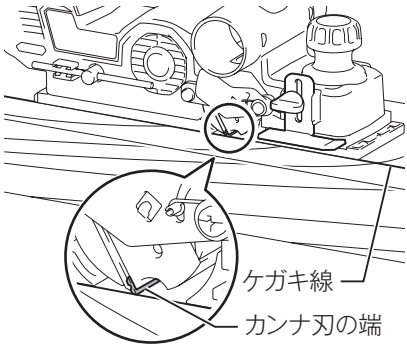
相じゃくり切削（段差をつける削り方）

・ 段差をつける切削をしたい場合は、ガイドルールとデプスガイドをご使用ください（30、32 ページ参照）。



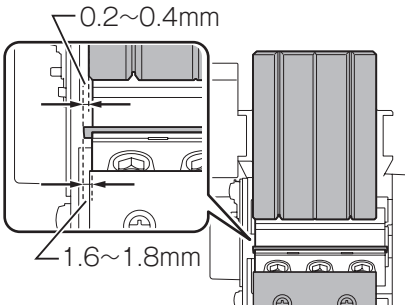


・ あらかじめ板材の削りたい幅の位置に鉛筆などでケガキ線（スミ線）を書き、カンナ刃の端をケガキ線に合わせてください。
・ 削り方は通常と同じ要領で行ってください（38 ページ参照）。



注

・ 相じゃくりをするには、カンナ刃をドラム端面から 1.6 mm ～ 1.8 mm（フロントベースの側端から 0.2 mm ～ 0.4 mm）外に出す必要があります。

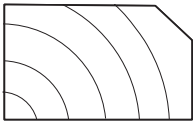


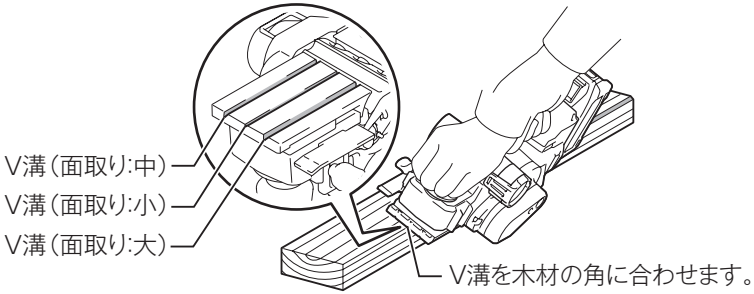
注

- 削る場合、ガイドルールを木材の側面にピッタリ付けるようにしてください。すき間のある状態で削りますと、削り幅が一定せず、むらが出ます。相じゃくり深さは最大25 mmです。デプスガイドを目安にしてください。
- 一度で削れる深さの目安は0 ～ 4.0 mmまでです。被削材により異なります。

面取り作業

- 木材の角を削りとる面取り作業は、本製品のフロントベース（前定盤）のV溝を木材の角に合わせ、本製品を傾けて削ってください。
- 材料の大きさに合わせて溝を選択してください。





別販売品の使い方

ミニ超硬カンナ刃の取り付け方

下記部品の変更が必要です。

除去部品

部品名	個数
カンナ刃（替刃式）	2
セットプレート 81	2
平小ネジ M5 × 13	4
⊕ナベ小ネジ M4 × 10	4

追加部品

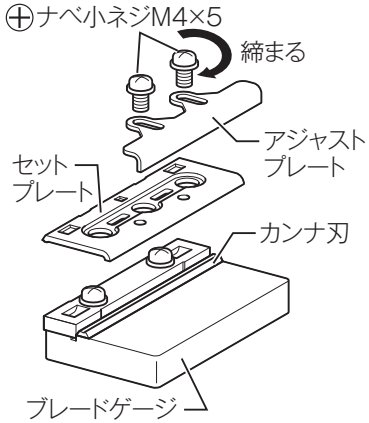
部品名	部品番号	個数
カンナ刃（ミニ超硬カンナ刃）	A-01747	2
セットプレート	343433-9	2
アジャストプレート	345644-2	2
⊕ナベ小ネジ M4 × 5	265132-2	4

用意する部品

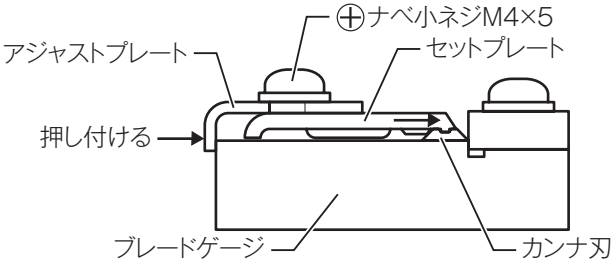
部品名	部品番号	個数
ブレードゲージ（別販売品）	123062-2	1

取り付け方

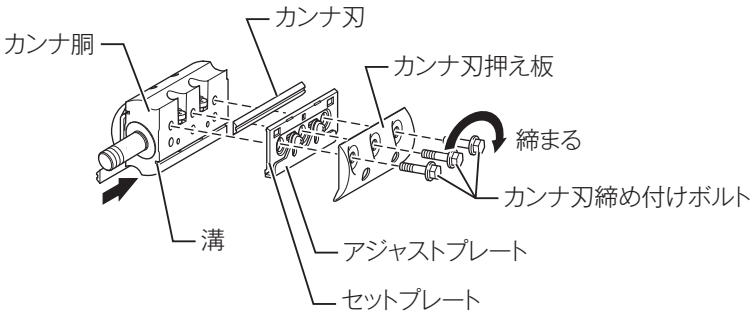
1. 本製品取り付けのカンナ刃押え板・セットプレート81・平小ネジ・カンナ刃を取りはずします。
2. カンナ胴およびカンナ刃押え板の汚れをきれいに取り除きます。
3. ブレードゲージにミニ超硬カンナ刃をすき間ができないようにセットします。
4. セットプレートにナベ小ネジM４×５（２本）でアジャストプレートを仮組みします。



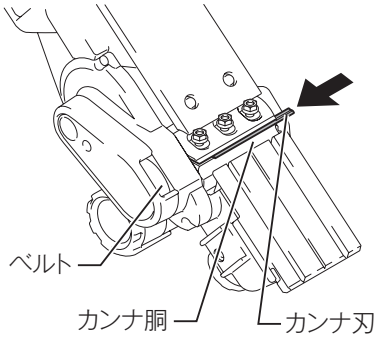
5. カンナ刃の溝に合わせてセットプレートの突起をセットし、アジャストプレートをブレードゲージに押し付けながらナベ小ネジをしっかり締め付けます。
（このときアジャストプレートがセットプレートとカンナ刃にガタがないように組み付けられていることを確認してください）。



6. ブレードゲージからはずしたアジャストプレートをカンナ胴の溝に挿し込み、カンナ刃押え板をカンナ刃締め付けボルトで仮締めします。



7. ベルト反対側よりセットプレートの横側からブレードゲージからはずしたミニ超硬カンナ刃を挿入し、刃物の両側がハウジングおよびブラケットに当たらない位置に調整して、カンナ刃締め付けボルトをしっかり締め付けます。
   ・ カンナ刃締め付けボルトを締め付け後、カンナ刃が正しく取り付けられているか確認してください。



8. 反対側のカンナ刃も同様に取り付けます。

集じん機との接続

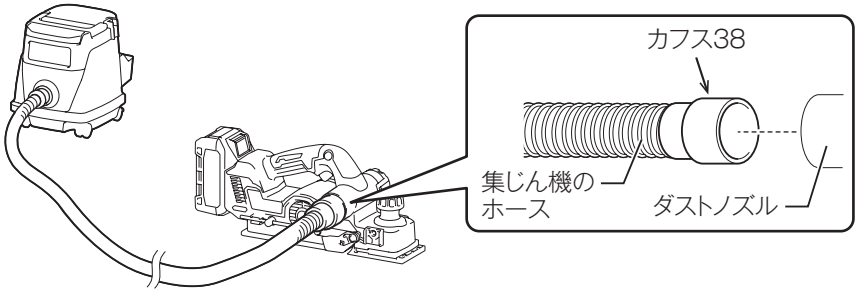
・ 本製品にノズルを取り付けることにより当社集じん機と接続でき、衛生的に作業をすることができます。

集じん機付属のホースがφ 19 の場合

・ 集じん機付属のホースを直接ダストノズルに取り付けてご使用ください。

集じん機付属のホースがφ 28 の場合

・ 集じん機付属のホースにホース付属のカフス 38 を取り付け、ダストノズルにカフス 38 を接続してご使用ください。



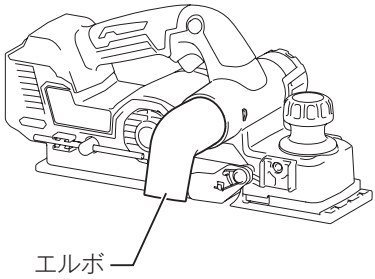
集じん機付属のホースがφ 38 の場合

・ 集じん機付属のホースを直接ダストノズルに取り付けてご使用ください。

別販売品の使い方

エルボの使用

・ エルボを使うと切削くずの出る向きを調整でき、きれいに作業できます。
・ エルボは、切削くずの出口に挿し込んで使います。引き抜くと取りはずせます。

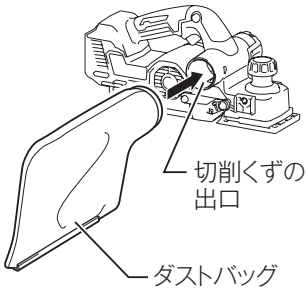


ダストバッグの使い方

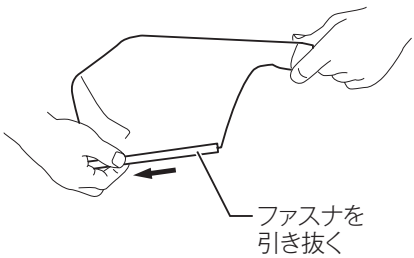
・ ダストバッグは切削くずの出口の左右どちらにも取り付けることができます。

取り付け方

・ ダストバッグを切削くずの出口に取り付けます。切削くずの出口は先が細くなっていますので、操作中にはずれないようにしっかりと押し込みます。



・ ダストバッグに切削くずなどが半分程度たまりましたら、本製品からダストバッグを取りはずし、ファスナを引き抜き、中の切削くずなどを捨ててください。

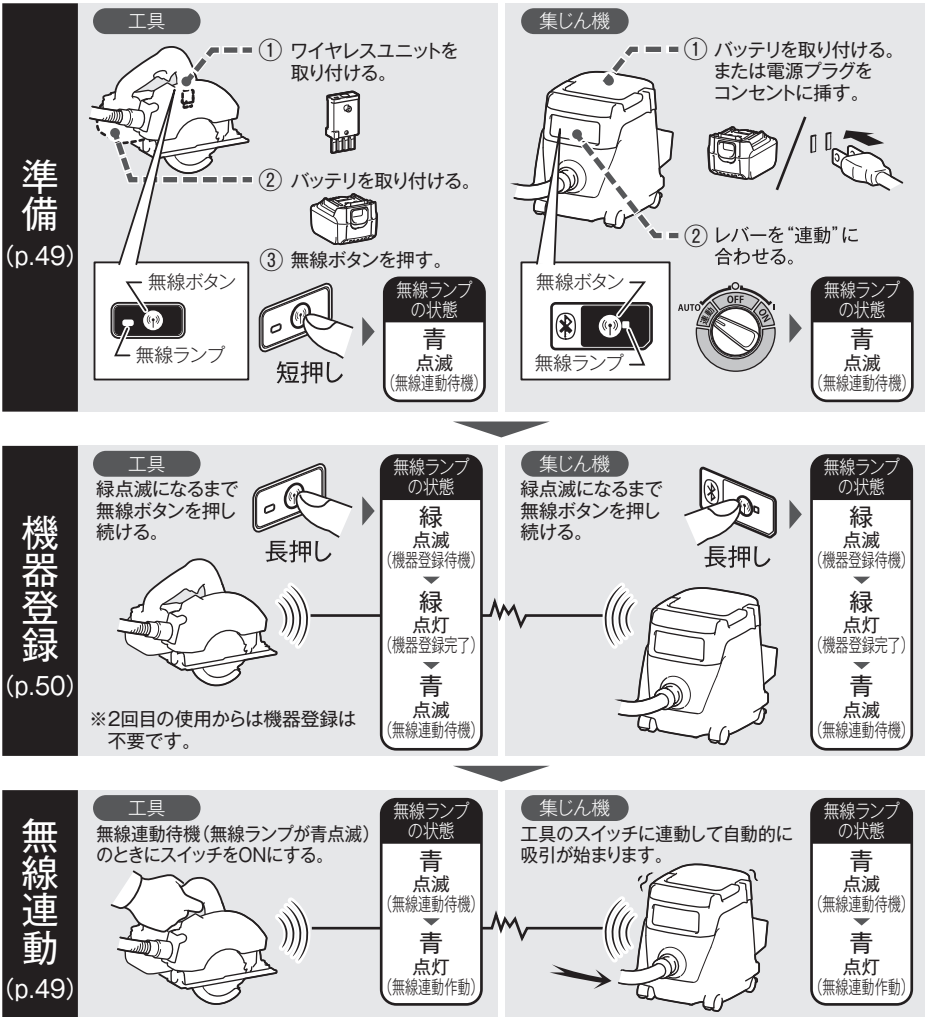


注

・ ダストバッグにゴミがたまり過ぎますと、吸じん力が弱くなります。ゴミは早めに捨ててください。
・ ダストバッグとエルボ（別販売品）を接続して使用することはできません。

無線連動の手順概要

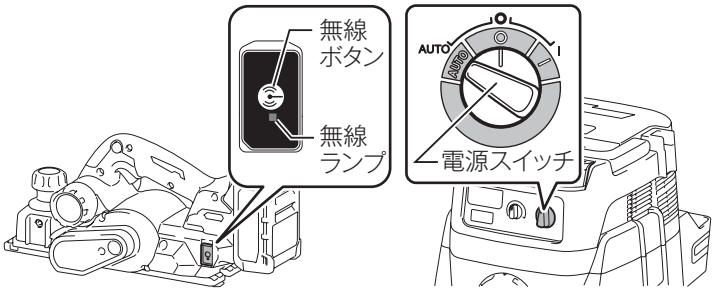
無線連動の大まかな手順は以下のとおりです。
工具、集じん機の操作はどちらが先でもかまいません。くわしい操作方法は各ステップの説明ページを参照してください。



※ 製品のイラストは参考例です。製品によりボタンや位置、その他デザインが異なります。
※ 無線ランプが青点滅中に、工具側の無線ボタンを短く押したり、集じん機側のレバーを連動以外にしたりすると無線連動が解除されます。

無線連動機能（AWS）（2/11）

・ 無線連動機能（AWS）を利用するには、無線連動機能に対応したマキタ純正工具と集じん機が必要です。
・ 機器登録 / 登録解除の前に工具にワイヤレスユニットが取り付けられていることを確認してください。
・ 機器登録 / 登録解除をするときは、工具と集じん機の無線ランプの状態が確認できるように設置してください。



Bluetooth® について

Bluetooth のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、マキタはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。

ワイヤレスユニット（A-66151）の取り付け・取りはずし方

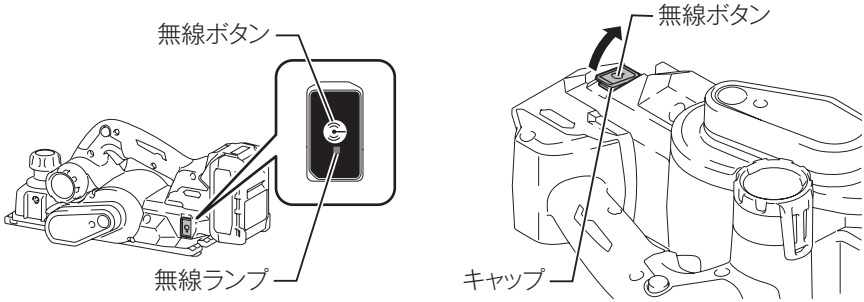
・ 無線連動機能を使うためには、工具にワイヤレスユニットを取り付ける必要があります。

注

・ **ワイヤレスユニット取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切りバッテリを抜いてください。**
  ・ バッテリを差したまま行うと、ワイヤレスユニットの故障原因になります。

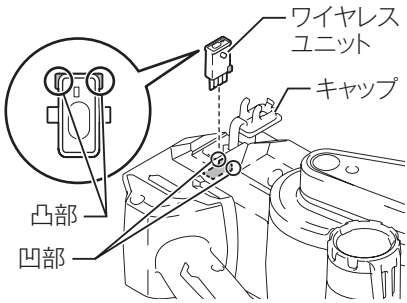
取り付け方

1. キャップを開きます。



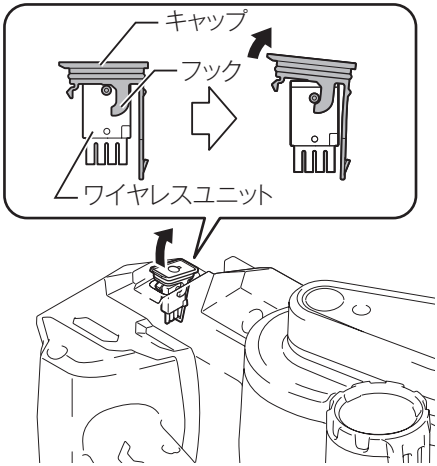
2. ワイヤレスユニットの凸部をスロットの凹部に合わせて挿入します。

3. キャップを閉じます。キャップがしっかりと閉まっていることを確認してください。



取りはずし方

1. キャップを開きます。
・ キャップのフックがワイヤレスユニットを引き出します。



2. ワイヤレスユニットを取り出して、専用ケースに保管します。
3. キャップを閉じます。

注

・ キャップは使用時も保管時も閉じておいてください。粉じんなどが入り、故障の原因になります。

無線連動機能（AWS）（5/11）

無線連動の準備

1. 集じん機の電源スイッチを「連動（AUTO）」の位置にして電源を入れます。
   集じん機の無線ランプが青色点滅をしてお知らせします。
   「OFF（O）」の位置にすると電源が切れます。
2. 無線連動させる工具の電源を入れ、無線ボタンを押します。
   工具の無線ランプが青色点滅をしてお知らせします。

無線連動

1. 工具のスイッチを入れると集じん機が無線連動して集じんを行います。

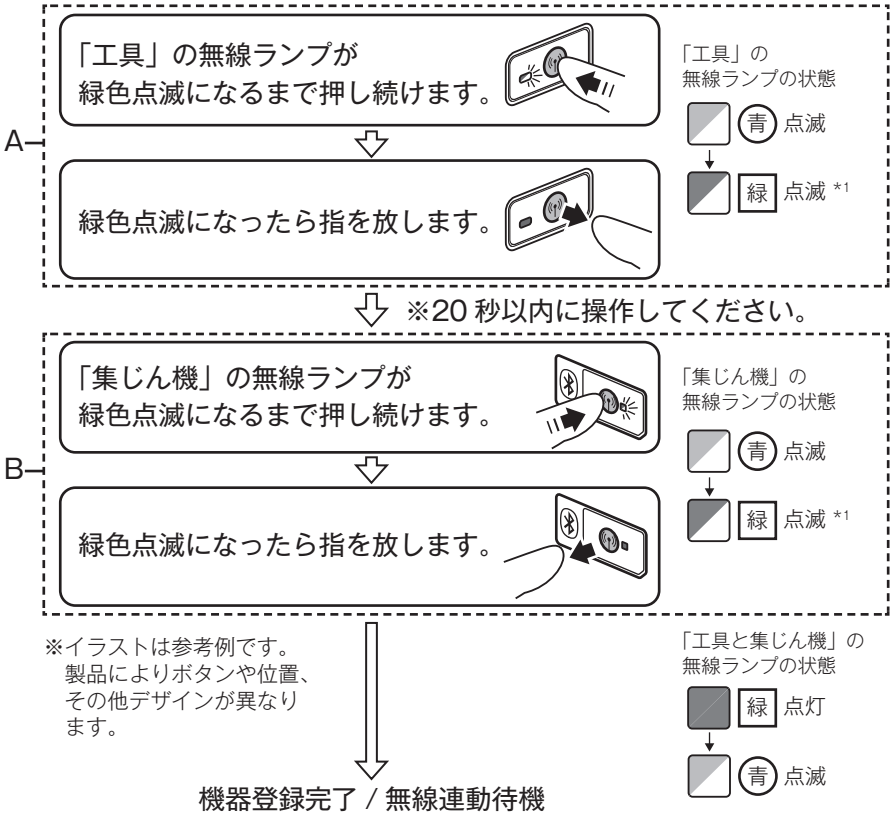
・ ワイヤレスユニットが機器登録済みであれば、集じん機が連動作動します。
・ 無線連動中は、集じん機と工具の無線ランプが青色点灯に変わります。

注

- 電源スイッチが「連動（AUTO）」の位置でも、操作スイッチで運転 / 停止ができます。ただし、無線連動運転中は操作スイッチでの運転 / 停止はできません。
- 工具のスイッチが入ったことを検知してから集じん機に発信するため、集じん機の始動は少し遅れます。
- 工具のスイッチを切った後も、集じん機はホース内のゴミを吸い込むために数秒間運転してから停止します。
- 工具のスイッチを入れても無線連動しない場合はワイヤレスユニットを集じん機に機器登録してください（50 ページ参照）。

機器登録

- 無線連動させる工具に取り付けたワイヤレスユニットを集じん機に登録します。
- 機器登録済みのワイヤレスユニットを工具に取り付ければ、使用するたびに機器登録をする必要はありません。
- 操作は工具と集じん機の両方で行います。
- 操作前に無線連動の準備をします（49 ページ参照）。

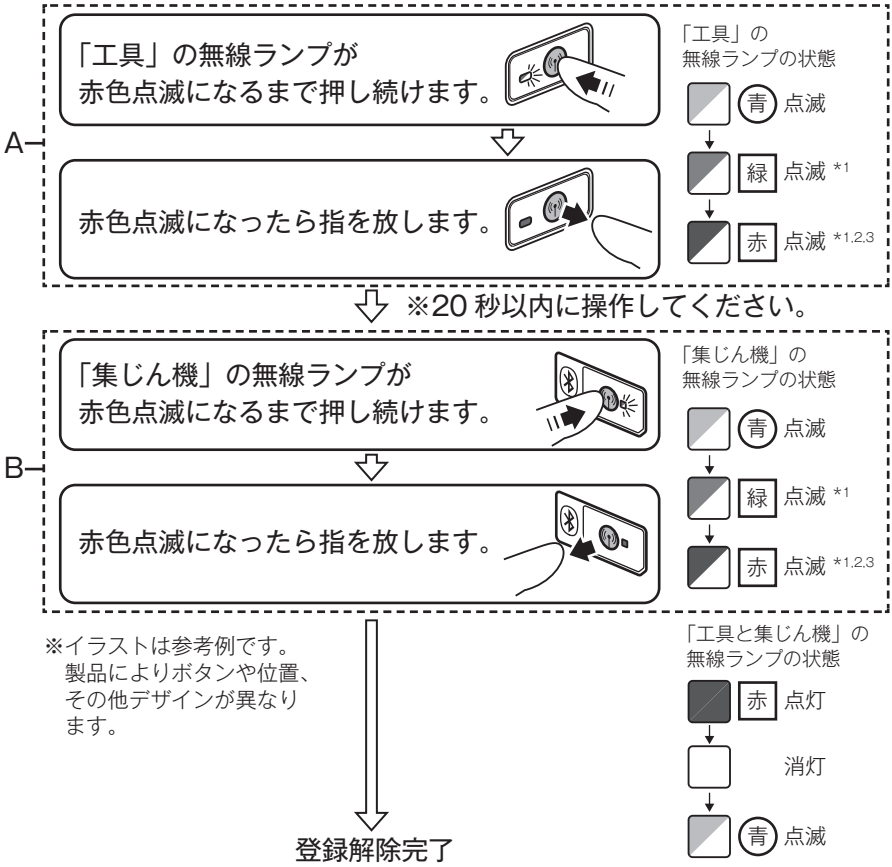


注

- A の操作と B の操作はどちらを先にしてもかまいませんが、必ず 20 秒以内に次の操作を行ってください。
- *1：無線ランプが緑色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。
- 最大 10 個のワイヤレスユニットまで機器登録できます。10 個を超えた場合は上書きされるため、最も古い登録情報が解除されます。

登録解除

- 記憶している工具との機器登録を個別で解除します。
- 操作は工具と集じん機の両方で行います。
- 操作前に無線連動の準備をします（49 ページ参照）。



注

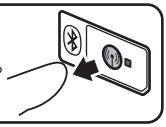
- A の操作と B の操作はどちらを先にしてもかまいませんが、必ず 20 秒以内に次の操作を行ってください。
- *1：無線ランプが緑色や赤色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。
- *2：無線ランプが赤色に点滅しない場合は、一度無線ボタンを短く押してからやり直してください（青色点滅に戻ります）。
- *3：赤色の点滅は約 20 秒で終了します。点滅が終了した場合は、再び赤色の点滅になるまで無線ボタンを押し続けてください。

登録全消去

- 記憶している工具との機器登録をすべて消去します。
- 操作は集じん機のみで行います。
- 操作前に無線連動の準備をします（49 ページ参照）。

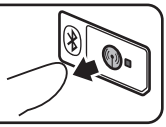
「集じん機」の無線ランプが赤色点滅になるまで押し続けます。

赤色点滅になったら指を放します。



赤色点滅が速くなるまで、再び押し続けます。

赤色点滅が速くなったら指を放します。



※イラストは参考例です。製品によりボタンや位置、その他デザインが異なります。

登録全消去完了

「集じん機」の無線ランプの状態

注

- *1：無線ランプが緑色や赤色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。
- *2：無線ランプが赤色に点滅しない場合は、一度無線ボタンを短く押してからやり直してください（青色点滅に戻ります）。
- *3：赤色の点滅は約 20 秒で終了します。点滅が終了した場合は、再び赤色の点滅になるまで無線ボタンを押し続けてください。

無線ランプについて

<table>
<tr><th>基本モード</th><th>色</th><th colspan="2">点灯 / 点滅と継続時間</th><th>状態</th></tr>
<tr><td rowspan="4">待機</td><td rowspan="4">青</td><td rowspan="3">点滅</td><td>集じん機：
連動（AUTO）時</td><td rowspan="2">機器登録の待機中です。</td></tr>
<tr><td>工具：
電源を入れ、無線ボタンを押したとき</td></tr>
<tr><td>機器登録の完了後</td><td>無線連動の待機状態です。</td></tr>
<tr><td>工具：約 2 時間</td><td>無線連動機能が利用できます。
無操作の状態が 2 時間続くと消灯し、無線連動機能停止します。</td></tr>
<tr><td>点灯</td><td>運転中のみ</td><td>無線連動機能中です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機器登録</td><td rowspan="2">緑</td><td>点滅</td><td>約 20 秒間</td><td>機器登録の準備中です。
登録する工具（ワイヤレスユニット）を探しています。</td></tr>
<tr><td>点灯</td><td>約 2 秒間</td><td>機器登録が完了しました。
その後、青色の点滅になります。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">登録解除・登録全消去</td><td rowspan="3">赤</td><td>遅い点滅
（2 回 / 秒）</td><td>約 20 秒間</td><td>登録解除の準備中です。
登録解除する工具（ワイヤレスユニット）を探しています。</td></tr>
<tr><td>早い点滅
（5 回 / 秒）</td><td>赤色の点滅後に、再び無線ボタンを押し続けたとき</td><td>登録した工具（ワイヤレスユニット）を全消去する準備ができました。</td></tr>
<tr><td>点灯</td><td>約 2 秒間</td><td>登録全消去が完了しました。
その後、青色の点滅になります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">その他</td><td>赤</td><td>点灯</td><td>約 3 秒間</td><td>無線連動機能の起動中です。</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td>-</td><td>-</td><td>無線連動機能が停止しています。</td></tr>
</table>

注

- 無線ランプが緑色や赤色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。

トラブルシューティング

症状	原因		対策
無線ランプが点灯 / 点滅しない。	工具	ワイヤレスユニットが取り付けられていない、または取り付け方が間違っている。	ワイヤレスユニットを正しく取り付けてください。⇒ 46 ページ参照
		ワイヤレスユニットの端子や取り付け部分が汚れている。	ワイヤレスユニットの端子やスロットに付いたほこりや汚れを落として、取り付け直してください。
		工具の無線ボタンを押していない。	工具の無線ボタンを押してください。⇒ 49 ページ参照
	集じん機	集じん機のスイッチが「連動（AUTO）」になっていない。	集じん機のスイッチを「連動（AUTO）」にしてください。 ⇒ 49 ページ参照
	共通	集じん機、または工具の電源が入っていない。	集じん機、工具ともに電源を入れてください。
		バッテリの容量が少ない。	バッテリを充電してください。 ⇒ 21 ページ参照
機器登録 / 登録解除ができない。	工具	ワイヤレスユニットが取り付けられていない、または取り付け方が間違っている。	ワイヤレスユニットを正しく取り付けてください。⇒ 46 ページ参照
		ワイヤレスユニットの端子や取り付け部分が汚れている。	ワイヤレスユニットの端子やスロットに付いたほこりや汚れを落として、取り付け直してください。
	集じん機	集じん機のスイッチが「連動（AUTO）」になっていない。	集じん機のスイッチを「連動（AUTO）」にしてください。 ⇒ 49 ページ参照
	共通	集じん機、または工具の電源が入っていない。	集じん機、工具ともに電源を入れてください。
		操作手順の間違い。	無線ボタンを短く押してからやり直してください。 ・機器登録⇒ 50 ページ参照 ・登録解除⇒ 51 ページ参照
		工具と集じん機が離れすぎている。	工具と集じん機を近づけて操作してください（最大通信距離は約 10 m。周囲の環境によって変化します）。
		機器登録 / 登録解除の完了前に工具や集じん機のスイッチを入れた。	機器登録 / 登録解除を最初からやり直してください。 ・機器登録⇒ 50 ページ参照 ・登録解除⇒ 51 ページ参照
		集じん機、工具の片方のみの操作しかできていない。	集じん機と工具の両方を操作してください。
	その他	周囲に強い電波を発する機器がある。	Wi-Fi 機器や電子レンジなどの電波を発する機器から離して操作してください。

無線連動機能（AWS）（11/11）

症状	原因		対策
集じん機が動かない。	工具	ワイヤレスユニットが取り付けられていない、または取り付け方が間違っている。	ワイヤレスユニットを正しく取り付けてください。⇒ 46 ページ参照
		ワイヤレスユニットの端子や取り付け部分が汚れている。	ワイヤレスユニットの端子やスロットに付いたほこりや汚れを落として、取り付け直してください。
		工具の無線ボタンを押していない。	工具の無線ボタンを押して青点滅になってから、スイッチを入れてください。
	集じん機	集じん機のスイッチが「連動（AUTO）」になっていない。	集じん機のスイッチを「連動（AUTO）」にしてください。 ⇒ 49 ページ参照
		集じん機の機器登録が 10 台を超えたため、最も先に登録された機器が解除された。	再登録をしてください。 ・機器登録⇒ 50 ページ参照
		機器登録が全消去された。	再登録をしてください。 ・機器登録⇒ 50 ページ参照
	共通	集じん機、または工具の電源が入っていない。	集じん機、工具ともに電源を入れてください。
		工具と集じん機が離れすぎている。	工具と集じん機を近づけて操作してください（最大通信距離は約 10 m。周囲の環境によって変化します）。
		バッテリの容量が少ない。	バッテリを充電してください。 ⇒ 21 ページ参照
	その他	周囲に強い電波を発する機器がある。	Wi-Fi 機器や電子レンジなどの電波を発する機器から離して操作してください。
工具のスイッチを操作しないときに、集じん機が動く。	集じん機	機器登録した、ほかの工具が集じん機と無線連動している。	・使用しない工具の無線連動を解除してください。⇒ 51 ページ参照 ・登録全消去を行い、必要な工具の機器登録を行ってください。 ・登録全消去⇒ 52 ページ参照 ・機器登録⇒ 50 ページ参照
登録全消去ができない。	工具	工具側を操作している。	登録全消去は集じん機のみで行えます。⇒ 52 ページ参照
	集じん機	スイッチが「連動（AUTO）」になっていない。	集じん機のスイッチを「連動（AUTO）」にしてください。 ⇒ 49 ページ参照
		操作手順の間違い。	無線ボタンを短く押してからやり直してください。⇒ 52 ページ参照

・ **上記の対策をお試しになっても解決しない場合は、故障が考えられます。お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。**

保護機能

本製品およびバッテリの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものです。

保護機能
・ 本製品およびバッテリの温度が高温になるとモータが自動停止します。 　・ 使用を中断して本製品よりバッテリを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。 　・ バッテリを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。
・ バッテリの容量が少なくなるとモータが自動停止します。 　・ 本製品よりバッテリを取りはずし、バッテリを充電してください。
・ 本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。 　・ いったんスイッチを放し、本製品よりバッテリを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。

・ 上記以外の症状で停止した場合、「故障かな？と思ったら」（57 ページ参照）に従って点検してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリを充電するか、充電済みのバッテリと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 56 ページ参照。

・ 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリ、充電器を一緒にお持ちください。

保守・点検について

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリを抜いてください。
・ バッテリを取り付けたまま行うと、事故の原因になります。

切削くずの出口の清掃

・ 切削くずの出口は定期的に清掃してください。
　つまりが発生したときは、エアダスターなどで清掃してください。

本製品のお手入れ

・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

・ **水洗いは絶対にしないでください。**
　・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
・ **ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。**

ご修理の際は

・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

メモ

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）

881H23F3
IWT